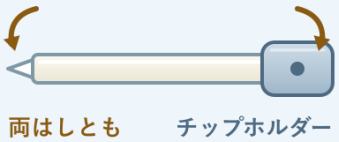
気体検知管の使い方

気体検知管で気体の割合を調べるには、どんな順で操作し、どこを読めばよいだろう

1 両はしを折る



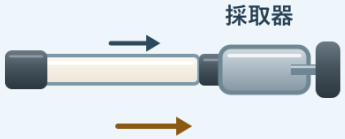
検知管の両はしを、
チップホルダーで
折る。

2 カバーゴムを付ける



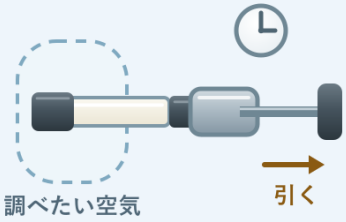
折った口の一方
（気体を入れる側）に
カバーゴムを付ける。

3 採取器に差しこむ



検知管の矢印（→）が
採取器の方を向くように
差しこむ。

4 気体を取りこむ



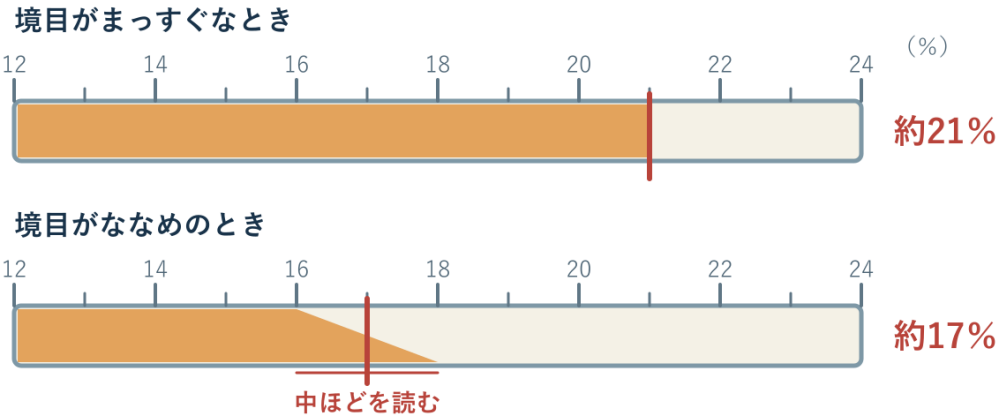
調べたい空気の中で、
ハンドルを引いて、
決められた時間待つ。

5 目もりを読む



色が変わった所の
境目の目もりを読む
（下の図）。

⑤ 目もりの読み方（目もりの部分を大きくした図）



! 安全のために

✕ **折り口に手をふれる**
ガラスでけがをする。

✕ **使い終わった酸素用検知管にすぐさわる**
熱くなっていて、やけどをする。

✓ **保護眼鏡をかける。**
使った検知管は、先生に集めてもらう。

※ 模式図。検知管の種類・待つ時間・目もり・色は、製品の説明書に従う。数値は例。完全な操作手順ではない。